

令和6年度 教育計画（シラバス）

講座コード	学科名	学年	教科	科目	単位数	履修期間	必修修
N1101A R1101A J1101A	普通科 理数科学科 人文社会科学科	1	国語	現代の国語	2	通年	○
教科書			補助教材				
高等学校 現代の国語（第一学習社）			力をつける現代文2（数研出版）、頻出漢字マスター3000				
到達 目標	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持つようとしている。			
学習の 評価	1 定期考査や課題の提出で「知識・技能」を評価する。 2 授業時の質疑応答や教材の内容に関するレポート、振り返りシートなどで「思考力・判断力・表現力」を評価する。 3 授業中の諸活動や確認プリントなどで「学びに向かう力、人間性等」を評価する。 上記1の評価に2・3を加味し、総合的に評価する。						
学習内容（単元・項目）				学習到達目標（評価規準）			
文章の構成を考える 『『生きもの』として生きる』『『本当の自分』幻想』				「読むこと」において、内容や構成、論理の展開について叙述を基に的確に捉え、要点を把握している。			
論理を捉える 「水の東西」「『間』の感覚」				「読むこと」において、論理の展開について叙述を基に的確に捉え、要旨を把握している。			
要旨を把握する 「日本語は世界をこのように捉える」 「ものごとくば」				「読むこと」において、内容や構成、論理の展開について叙述を基に的確に捉え、要点を把握している。			
小説1 「砂に埋もれたル・コルビジェ」				「話すこと・聞くこと」において、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して伝え合う内容を検討している。			
スピーチをする 「〈表現編〉待遇表現・スピーチで自分を伝える」				「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話し、相手の理解が得られるように表現を工夫している。			
文章を読み比べる1 「法律の改正にかかわる文章を読み比べる」				「読むこと」において、文章や図表に含まれる情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めている。			
論理分析【推論】 「A Iは哲学できるか」				「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。			
聞いて整理する 「無彩の色」				「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開を評価し、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。			
伝えたいことを明確にする 「私作りとプライバシー」				「書くこと」において、実社会の中から適切な話題を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。			
文章構成を工夫する 『文化』としての科学』				「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。			
小説2 「羅生門」				「書くこと」において、読み手の理解が得られるように、論理展開を考えて文章の構成を工夫している。			
根拠を示して書く 「不均衡な時間」				「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方や説明や表現の仕方を考えたり工夫したりしている。			
論点を共有して話し合う 「フェアな競争」				「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広めたり深めたりしながら、表現や進行の仕方を工夫している。			
根拠を示して書く 「不均衡な時間」				「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方や説明や表現の仕方を考えたり工夫したりしている。			
文章を読み比べる2 「ロビンソンの人間と自然」				「読むこと」において、文章に含まれる情報を関連づけながら、文章の構成や論理展開などについて評価しようとしている。			
小説3 「城の崎にて」				「書くこと」において自分の意見が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるときともに、表現の仕方を工夫している。			

令和6年度 教育計画（シラバス）

講座コード	学科名	学年	教科	科目	単位数	履修期間	必修
N1102A R1102A J1102A	普通科 理数科学科 人文社会科学科	1	国語	言語文化	3	通年	○
<b>教科書</b>		<b>補助教材</b>					
高等学校 習社)	言語文化（第一学	完全マスター古典文法（第一学習社）新明説漢文（尚文出版） 基礎古文（尚文出版）基礎漢文（尚文出版）					
<b>到達 目標</b>	<b>知識・技能</b>	<b>思考・判断・表現</b>		<b>主体的に学習に取り組む態度</b>			
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。			
<b>学習の 評価</b>	1 定期考査や課題の提出で「知識・技能」を評価する。 2 教材の内容に関するレポートや振り返りシートなどで「思考・判断・表現」を評価する。 3 授業の活動や確認プリントなどで「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 上記1の評価に2・3を加味し、総合的に判断する。						
<b>学習内容（単元・項目）</b>		<b>学習到達目標（評価規準）</b>					
古文入門 「児のそら寝」「絵仏師良秀」 「なよ竹のかぐや姫」		「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている。					
歌物語 「伊勢物語」「大和物語」		「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。					
漢文入門 漢文に親しむ		「読むこと」において、我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。					
故事成語 「漁夫之利」「狐借虎威」「蛇足」		「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている。漢文を読むために必要な訓読の決まりや特有の表現などについて理解を深めている。					
日記 「土佐日記」		「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。					
随筆 「枕草子」		「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を理解している。					
随筆 「徒然草」		「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。					
軍記物語 「平家物語」		「読むこと」において、和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めている。					
史伝 「完璧」「先從隗始」		「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を理解している。					
漢詩 「唐詩の世界」漢詩の決まり 詩を作る		「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。					
俳諧紀行文 「奥の細道」		「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。					
古典の詩歌 「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」		「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。和歌の特徴的な表現の技法とその効果について理解している。					
史伝 「臥薪嘗胆」		「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を理解している。					
思想 「論語」		「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。					
文章 「桃花源記」		「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。					